



平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月12日

上場会社名 株式会社 東天紅 上場取引所 東
コード番号 8181 URL http://www.totenko.co.jp
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小泉 和久
問合せ先責任者 (役職名)総務部長 (氏名)福岡 廉雄 (TEL)03(3828)6272
四半期報告書提出予定日 平成24年10月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	3,313	15.3	29	—	17	—	8	—
24年2月期第2四半期	2,873	△13.0	△251	—	△262	—	△340	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	0.33	—
24年2月期第2四半期	△13.27	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	12,618	9,092	72.1
24年2月期	12,721	9,087	71.4

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 9,092百万円 24年2月期 9,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末の配当につきましては、今後、業績の動向を勘案して決定してまいります。

3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	6.4	120	—	100	—	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年2月期2Q	25,728,716株	24年2月期	25,728,716株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年2月期2Q	35,958株	24年2月期	35,958株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年2月期2Q	25,692,758株	24年2月期2Q	25,693,284株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による景気低迷から緩やかな回復の兆しが見られたものの、依然として欧州を中心とした海外金融不安や円高の長期化など、先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況のもとで、当社は、セールスの徹底による宴会売上の強化に努めてまいりました。

次に、「LUCIS(ルーキス)」「Coeur et Coeur(クーレクール)」「LA VIE CLAIR(ラヴィクレール)」などの婚礼や婚礼二次会においては、集客媒体の増強やプランの充実と、さらなる営業力強化を図ってまいりました。

さらに、改装店舗である「CHIBA SKY WINDOWS東天紅」、「新宿店」、「横浜桜木町ワシントンホテル店」、「名古屋店」、「姫路・山陽百貨店東天紅」の各店はおお客様にご好評をいただき、改装効果もあり、好調に推移いたしました。

そして平成24年3月、「JACK大宮店」の改修工事を実施し、集客力の強化を図りました。

また、ご来店いただいたお客様により一層ご満足いただくため、お客様アンケートの収集に努め、お客様満足度の向上を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は、前年同四半期比15.3%増の33億1,391万円、営業利益は2,972万円(前年同四半期は営業損失2億5,151万円)、経常利益は1,797万円(前年同四半期は経常損失2億6,290万円)、四半期純利益は842万円(前年同四半期は四半期純損失3億4,088万円)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1億351万円減少いたしました。

これは主に、現金及び預金が四半期純利益の計上並びに借入金の新規実施があったものの土地の購入等により8,853万円減少したことなどにより、流動資産が1億4,054万円の減少、固定資産は土地の購入及び有形固定資産の償却並びに差入保証金の返還等により3,702万円増加したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ1億809万円減少いたしました。

これは主に、借入金は8,202万円増加したものの、未払金が支払いにより1億645万円の減少、買掛金が売上変動により4,795万円減少したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ457万円増加いたしました。

これは主に、四半期純利益842万円を計上したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間の現金及び同等物(以下「資金」という。)は6億5,436万円となり、前事業年度末と比較して8,853万円の減少となりました。

これは税引前四半期純利益1,576万円の計上(前年同四半期は税引前四半期純損失3億3,366万円)、減価償却費1億369万円の計上及び土地の取得1億308万円の計上等によるものであります。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果得られ資金は5,096万円となりました。(前年同四半期は2億5,533万円の支出)

これは主に税引前四半期純利益及び減価償却費の計上等によるものであります。

投資活動により使用した資金は2億1,585万円となりました。(前年同四半期は3,647万円の支出)

これは主に有形固定資産の取得による支出並びに投資有価証券の取得等によるものであります。

財務活動により得られた資金は7,635万円となりました。(前年同四半期は2億2,310万円の収入)

これは主に借入金の新規実施によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当初予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	742,898	654,366
売掛金	254,233	227,375
商品及び製品	7,967	6,797
原材料及び貯蔵品	68,293	65,710
その他	113,027	91,624
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	1,186,120	1,045,574
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,440,044	1,398,370
土地	7,897,327	8,000,415
その他(純額)	270,699	252,849
有形固定資産合計	9,608,071	9,651,635
無形固定資産	26,396	18,650
投資その他の資産		
差入保証金	1,706,889	1,701,479
投資有価証券	83,475	84,380
その他	111,636	117,352
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	1,901,401	1,902,612
固定資産合計	11,535,869	11,572,898
資産合計	12,721,989	12,618,473
負債の部		
流動負債		
買掛金	153,667	105,714
短期借入金	1,257,875	1,158,125
リース債務	11,269	11,269
未払法人税等	34,680	24,200
賞与引当金	68,400	71,860
その他	447,312	331,593
流動負債合計	1,973,205	1,702,762
固定負債		
長期借入金	514,000	695,775
リース債務	35,259	29,624
繰延税金負債	3,046	931
再評価に係る繰延税金負債	351,284	351,284
退職給付引当金	489,301	490,247
資産除去債務	40,200	40,200
長期未払金	152,818	140,194
その他	75,000	75,000
固定負債合計	1,660,909	1,823,258
負債合計	3,634,115	3,526,021

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,092	2,572,092
資本剰余金	6,561,688	6,561,688
利益剰余金	713,451	721,881
自己株式	△8,429	△8,429
株主資本合計	9,838,802	9,847,232
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,477	1,625
土地再評価差額金	△756,405	△756,405
評価・換算差額等合計	△750,927	△754,779
純資産合計	9,087,874	9,092,452
負債純資産合計	12,721,989	12,618,473

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	2,873,639	3,313,916
売上原価	1,415,030	1,530,422
売上総利益	1,458,608	1,783,494
販売費及び一般管理費	1,710,119	1,753,770
営業利益又は営業損失(△)	△251,511	29,724
営業外収益		
受取利息	52	66
受取配当金	3,621	1,829
未回収商品券受入益	726	838
その他	3,217	3,711
営業外収益合計	7,617	6,444
営業外費用		
支払利息	18,150	17,445
その他	861	746
営業外費用合計	19,012	18,192
経常利益又は経常損失(△)	△262,906	17,976
特別損失		
固定資産除却損	952	2,210
店舗閉鎖損失	176	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	40,200	—
災害による損失	29,429	—
特別損失合計	70,759	2,210
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△333,665	15,766
法人税、住民税及び事業税	7,217	7,336
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	7,217	7,336
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△340,883	8,429

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△333,665	15,766
減価償却費	127,650	103,697
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,900	3,460
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	17,012	946
受取利息及び受取配当金	△3,673	△1,895
支払利息	18,150	17,445
固定資産除却損	155	413
売上債権の増減額 (△は増加)	△984	26,858
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△762	3,752
仕入債務の増減額 (△は減少)	△56,593	△47,953
未払金の増減額 (△は減少)	△16,995	△37,754
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	40,200	—
災害損失	2,348	—
その他	△7,595	△1,107
小計	△222,653	83,628
利息及び配当金の受取額	3,673	1,895
利息の支払額	△19,217	△17,132
法人税等の支払額	△17,143	△17,427
営業活動によるキャッシュ・フロー	△255,339	50,964
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△36,300	△208,305
投資有価証券の取得による支出	—	△6,871
差入保証金の差入による支出	△582	△224
差入保証金の回収による収入	10,414	5,634
その他	△10,010	△6,084
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,477	△215,850
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△12,978	△5,634
短期借入金の純増減額 (△は減少)	210,000	△100,000
長期借入れによる収入	250,000	358,000
長期借入金の返済による支出	△172,650	△175,975
自己株式の取得による支出	△35	—
配当金の支払額	△51,233	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	223,102	76,354
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△68,715	△88,531
現金及び現金同等物の期首残高	658,699	742,898
現金及び現金同等物の四半期末残高	589,984	654,366

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、料理・飲食物の加工調理提供を主要業務とする飲食店のほか付随的に外販・不動産賃貸等を営んでおりますが、飲食店としての事業がほとんどを占めており実質的に単一セグメントのため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。